

Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース 第60号 (Vol.15 No.4)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1986, 60, p. 1-14
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65675
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

共通利用番号制実施に伴う昭和 61 年度の利用申請について

速報No.128（1985年11月20日発行）でお知らせしましたとおり、昭和61年4月から全国共同利用7大学大型計算機センター（北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大）及び東大文献情報センターで共通利用番号制を実施することになりました。共通利用番号制、共通利用番号の形式、阪大センターの申請方法について説明します。

共通利用番号制

共通利用番号制が実施されると、利用者層の異なる東大文献情報センターを除いて、大部分の利用者は一つのセンターに申請、登録されれば、他のセンターも同じ番号で利用できるようになります。

利用者はまず主に利用するセンター（所属センター）を一つ選び、所属センターへそのセンターの利用申請書で利用申請を行い、「共通利用番号」の交付を受けます。所属センター以外のセンター（第二センターと呼びます。）への利用申請の方法は、所属センターへTSS処理またはバッチ処理で第二センターへの登録依頼をすることになります。登録依頼があれば所属センターは第二センターへ所定の申請手続を代行します。すなわち、第二センターに対して申請書の提出は所属センターへの所定の申請手続を行いますので不要です。第二センターでは、所属センターから送られてきた情報をもとに、利用資格、支払費目等を審査します。従って、所属センターで利用を認められているにもかかわらず、第二センターで認められない場合もあります。この場合には、そのセンターに直接申請書を提出してください。共通利用番号は異なりますがそのセンターの利用が認められることもあります。

共通利用番号の形式

阪大センターでは、現在利用者が研究課題毎に申請書を提出し、課題番号を与えています。しかしながら、共通利用番号では利用者に対応して番号が与えられます。従って、課題番号制と共通利用番号制は基本的な考え方が異なっています。共通利用番号の形式は、「利用者番号」6桁と「支払コード」1桁の合計7桁で構成されています。支払コードは利用者の支払費目を示すコードです。

阪大センターを所属センターとする利用者の場合、例えば現在の課題番号を有している方は、新しい利用番号になれば、次のようになります。

阪大センターを第二センターとする場合

利用者が選んだ所属センターへ継続申請を行った後、61年度の計算サービス開始時から4月末日までの間に、所属センターのT S S 処理またはバッチ処理で「阪大センター（第二センター）」への登録をしてください。なお、4月末日までに登録依頼がない場合、ファイルは消去されます。

新規申請について

阪大センターを所属センターとする場合

利用者は新しい様式の利用申請書に必要な事項を記入し、本センターへ新規申請してください。2月中旬に本センターより各連絡所へ新様式の利用申請書を送付します。2月中旬から61年度の新規申請の受け付けを開始します。なお、第二センターを利用する場合、利用者は本センターより承認書が届けば、4月以降T S S 処理及びバッチ処理で他のセンターへ登録依頼をすることができます。

阪大センターを第二センターとする場合

最初に、利用者は主として利用するセンターへそのセンターの利用申請書により新規申請をしてください。当該センターより承認書が届けば、そのセンターのT S S 処理またはバッチ処理で阪大センターへ登録申請をしてください。

なお、詳細については追って速報等でお知らせします。

注) 申請方法等の詳細は、現時点（編集段階）では決まっておらなかったため、参考のため、速報No.130（1986.1.21掲載）を再掲いたしました。

なお、詳細は2月12日発行の速報に掲載の予定です。詳しくはそちらを御覧ください。

昭和61年度研究開発計画の公募について

大型計算機センターの計算機システムは、これからも逐次拡充を図る予定です。ハードウェアはめざましい技術の発展と共に拡充されますが、ソフトウェアはセンターだけの力ではなかなか拡充できず、宝の持ち腐れともなりかねません。

研究開発計画は、広く利用者からセンターの計算機システムの利用に関して利用者に役立つもの、システムの運用に役立つものを募集します。

また、昭和61年度に導入されるスーパーコンピュータ SX-1システムに関する研究開発計画も積極的に御応募ください。

センターの利用有資格者であれば、誰でも応募できますので、次の要領によって応募されることを期待しています。

応募要領

1. 研究開発計画の対象

- (1) 基礎及び応用プログラム開発に関するもの
- (2) 計算機言語に関するもの（クロスコンパイラの開発など）
- (3) 計算機利用に関するもの（各種のユーティリティ・プログラム作成など）

2. 研究開発（データベース）計画の対象

- (1) 学術文献データベースに関するもの
- (2) 各種ファクトデータベース（数値、図形、画像データベース等）に関するもの

3. 研究開発（プログラム・ライブラリ整備）計画の対象

- (1) プログラム・ライブラリの書き換え、改良及び、精度、信頼性の検定

などで、センターの計算機システムの利用に関して利用者に役立つもの、システムの運用に関して役立つものです。

4. 応募資格

センター利用有資格者

5. 応募方法

該当する研究開発計画申請書（利用者受付にあります）を共同利用掛に提出してください。

6. 締切日

第1回 昭和61年3月31日

昭和61年度プログラム相談員の募集について

センター内のプログラム相談室では、毎日一定時間内に、プログラム上の問題やセンター利用全般について相談に応じています。十分なプログラム相談を行うには、相当数のプログラム相談員が必要です。

センターでは、昭和61年度のプログラム相談員を下記の要領で募集していますので御協力いただける方、我と思われる方は是非応募くださるようお願いいたします。

記

応募資格：本センターの利用有資格者

期 間：昭和61年 4月～昭和62年 3月（前後期各半年でも可）

内 容：本センターで週1回2時間（隔週でも可）、利用者からのプログラム等についての相談に応じていただきます。

月 ～ 金 土

① 10:00～12:00 ① 10:00～12:00

② 13:00～15:00

③ 15:00～17:00

待 遇：1. 計算機利用負担金の一定額免除

①任期1年の場合 14万円相当（隔週担当の場合7万円相当）

②任期半年の場合 7万円相当（隔週担当の場合3.5万円相当）

2. マニュアルを一定限度まで無償配布

3. プログラム相談室の端末の利用

4. ジョブの優先処理

応募方法：応募用紙が本センターにありますので必要事項を記入の上、次の宛先まで提出してください。

〒567 茨木市美穂ヶ丘5-1（阪大吹田団地内）

大阪大学大型計算機センター共同利用掛

TEL06-877-5111 内線2815,2817

締 切：昭和61年 3月31日（月）

昭和60年度下半期プログラム相談室の担当表

昭和60年度下半期のプログラム相談室の担当は次のとおりです。プログラムについての相談を受けられる方は、2階のプログラム相談室で、相談票に相談事項を記入のうえ御相談ください。

曜日	10:00~12:00	13:00~15:00	15:00~17:00
月	氏名:荒川 恵史 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:長谷川恭輔 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:家本 修 所属:阪大・工学部 専門:4,10,11,14,15
		氏名:有馬 淑子 所属:阪大・人間科学部 専門:15	氏名:山西 隆章 所属:阪大・工学部 専門:4
火	氏名:中島 章喜 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:浜村 秀彦 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:田村 圭介 所属:阪大・理学部 専門:4,10,11
水		氏名:武知 英夫 所属:阿南工業高専 専門:4,8,9,10,13,17	氏名:鈴木 隆之 所属:阪大・工学部 専門:4,10
木	氏名:高山浩一郎 所属:阪大・工学部 専門:21	氏名:宇根崎博信 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:高木 達也 所属:阪大・薬学部 専門:4,8,9,10,14,18
	氏名:小池 恵一 所属:阪大・工学部 専門:4		
金	氏名:多田 栄一 所属:阪大・基礎工学部 専門:4,10,11	氏名:山田 稔 所属:阪大・工学部 専門:4,10,15	氏名:柳瀬 章 所属:大阪府立大学 専門:4,8,9,10,11,19,20
	氏名:中野 誠 所属:阪大・工学部 専門:4,10		
土	氏名:田中 徹 所属:阪大・基礎工学部 専門:4,10,11		

曜日	10:00~12:00	13:00~15:00	15:00~17:00
月	氏名:荒川 恵史 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:長谷川恭輔 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:家本 修 所属:阪大・工学部 専門:4,10,11,14,15
			氏名:山西 隆章 所属:阪大・工学部 専門:4
火	氏名:中島 章喜 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:浜村 秀彦 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:田村 圭介 所属:阪大・理学部 専門:4,10,11
水	/	氏名:村上 公一 所属:阪大・工学部 専門:5,16	氏名:鈴木 隆之 所属:阪大・工学部 専門:4,10
木	氏名:高山浩一郎 所属:阪大・工学部 専門:21	氏名:宇根崎博信 所属:阪大・工学部 専門:4,10	氏名:高木 達也 所属:阪大・薬学部 専門:4,8,9,10,14,18
	氏名:小池 恵一 所属:阪大・工学部 専門:4		
金	氏名:北村 義弘 所属:阪大・工学部 専門:4,10		氏名:柳瀬 章 所属:大阪府立大学 専門:4,8,9,10,11,19,20
	氏名:中野 誠 所属:阪大・工学部 専門:4,10		
土	氏名:田中 徹 所属:阪大・基礎工学部 専門:4,10,11	/	/

- 専門分野
- | | | | |
|----------|-------------|----------|--------------|
| 1. ALGOL | 2. APL | 3. COBOL | 4. FORTRAN |
| 5. LISP | 6. PASCAL | 7. PL/I | 8. ファイル |
| 9. 図形処理 | 10. TSS | 11. 数値計算 | 12. アプリケーション |
| 13. INQ | 14. STATPAC | 15. SPSS | 16. GMAP |
| 17. ISAP | 18. MNDOA | 19. GPSS | 20. CPSS |
| 21. C | | | |

昭和60年度プログラム指導員について

プログラム指導員は、大口利用者を有する連絡所、またはジョブ処理件数の多い連絡所のうちで最も利用頻度の高い利用者に対してセンターから依頼し、承諾を得たものです。

遠隔地の利用者で、プログラムの相談等がありましたら、下表の各連絡所所属のプログラム指導員に御相談して下さるようお願いします。

プログラム指導員名簿

氏名	所属及び連絡先	職名	指導曜日	指導場所	指導内容
富永 昌治	大阪電気通信大学 工学部 精密工学科 TEL 0720-24-1131 内線 253	助教授	適時	研究室	FORTTRAN
仲川 勇二	高松工業高等専門学校 電気工学科 TEL 0878-67-0276	助教授	適時	研究室	FORTTRAN C
西田 修身	神戸商船大学 商船学部 機関学科 TEL 078-453-2332 内線 330	助教授	月～金曜日	研究室	FORTTRAN
土井 光暢	大阪薬科大学 物理化学研究室 TEL 0723-32-1015 内線 215	助手	適時	研究室	FORTTRAN
村上 益美	大阪市立大学 工学部 建築学科 TEL 06-692-1231 内線 3437	助手	毎週木曜日	研究室	FORTTRAN
長瀬 久明	兵庫教育大学 電子計算機室 TEL 07954-4-1101 内線 309	助手	月～金曜日	研究室	FORTTRAN TSS
平井 國友	奈良県立医科大学 医学部 TEL 07442-2-3051 内線 2270	講師	毎週木曜日	研究室	FORTTRAN

氏名	所属及び連絡先	職名	指導曜日	指導場所	指導内容
山田 勝稔	徳島大学工業短期大学部 生産機械工学科 TEL 0886-23-2311 内線 5313	助教授	適時	研究室	FORTRAN 数値計算
柳瀬 章	大阪府立大学 総合科学部 総合科学科 TEL 0722-52-1161 内線 2714	教授	適時	研究室	FORTRAN
越桐 国雄	大阪教育大学 教育学部 物理教室 TEL 06-771-8131 内線 230	助手	適時	研究室	FORTRAN
武知 英夫	阿南工業高等専門学校 機械工学科 TEL 0884-22-2010 内線 282	講師	適時	研究室	FORTRAN INQ、TSS
浅田 昌三	神戸女子薬科大学 薬学部 薬学科 TEL 078-453-0031 内線 201	教授	適時	研究室	FORTRAN
堂垣 正博	関西大学 工学部 土木工学科 TEL 06-388-1121 内線5682	助教授	適時	研究室	FORTRAN
古谷 博史	高知医科大学 医学部 TEL 0888-66-5811 内線 2050	助手	適時	研究室	FORTRAN PL/I
東山 陽一	愛媛大学 情報処理センター TEL 0899-24-7111 内線 3668	助手	適時	研究室	FORTRAN
杉山 司郎	大阪工業大学 工学部 機械工学科 TEL 06-952-3131 内線 263	講師	火、水、金 10時～17時	研究室	FORTRAN

氏名	所属及び連絡先	職名	指導曜日	指導場所	指導内容
松永満佐子	四国女子大学短期大学部 家政科 TEL 0886-65-1300 内線 169	講師	適時	研究室	FORTTRAN COBOL
太田 雅久	甲南大学 理学部 物理学科 TEL 078-431-4341 内線 283	助教授	適時	研究室	FORTTRAN
小川 喜弘	近畿大学 理工学部 原子炉工学科 TEL. 06-721-2332 内線 258	助手	適時	研究室	FORTTRAN

大型計算機利用に伴う利用者旅費について

利用者が、大型計算機を利用する場合、地域差を少なくするため遠隔地利用者には、利用者旅費支給の制度があります。これは、大型計算機センターに出張して計算機を利用する場合に旅費を支給する制度です。

利用者が旅費の支給を希望する場合は、下記要領によりセンター所定の申請書を提出してください。なお、大学院学生及び科学研究費補助金による利用者には、旅費を支給できません。

記

- 日帰り旅行……第5、第6地区で京阪神地区の利用者（注参照）は、日帰り旅行申請書を利用希望日の前月25日（必着）までに本センター共同利用掛まで提出してください（日帰り出張回数は、1人当たり月5回以内とします）。
- 宿泊を伴うもの……京阪神地区以外の利用者は、申請書を利用希望日の前月25日（必着）までに本センターに到着するように、所属連絡所及び所属地区協を通じて提出してください（センター滞在日数は、3日以内で月1回に限ります）。
- 旅費は、後日、銀行振込により送金します。
- 出張利用に関する問い合わせは、センター共同利用掛（06-877-5111 内線2815）までお願いします。

（注）京阪神地区の利用者（日帰り旅行適用者）は、次の連絡所に所属する者

（第6地区）大阪府下の全連絡所

奈良県下の全連絡所

兵庫県下（姫路工業大学、兵庫教育大学は宿泊の対象となる）の全連絡所

和歌山県下（和歌山高専は宿泊の対象となる）の全連絡所

（第5地区）京都府下（舞鶴高専は宿泊の対象となる）の全連絡所

滋賀県下（滋賀大学（彦根市）、滋賀県立短大は宿泊の対象となる）の全連絡所

注意事項 申請書記入の際は、次の点に御留意願います。

申請書の出張利用の理由欄には、特に本センターへ出張して計算機を利用しなければならない出張理由を具体的に記入してください。出張理由が明確でない場合、出張を認めませんので御了承願います。

センターニュース、速報の配布について(再掲)

来年度から、共通利用番号制が実施されることに伴い、広報誌の配布の方法を変更することになりました。従来、課題番号所有者には、無条件で配布していましたが、来年度からの利用申請書(新規、継続とも)には、広報配布希望の有無欄が設けられますので、その欄により広報配布希望の有無を指定してください。

また、本センターの利用者でなく、広報誌の配布を引き続き希望される場合には、郵便はがきに下記のとおり記入し申し込んでください。

なお、送付先に変更が生じた時や配布が不要になった場合は、速やかにお知らせ願います。

記

40	郵便はがき			
	5	6	7	- □ □
	大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛行			茨木市美穂ケ丘五―一

広報配布申込書 大阪大学大型計算機センター 共同利用掛長殿 センターニュース、速報の配布を希望しますので、下記のとおり申し込みます。 記 住所 〒 団体名称 所属 担当者名 TEL 希望部数 使用目的

(共同利用掛)

昭和 61 年度利用者講習会計画

月 日	時 間	タ イ ト ル	内 容	受 講 対 象
4月24日 (木)	10:40	システムの運用について	<ul style="list-style-type: none"> • センターの概要 • センターの計算機システム • サービス内容 • SX-1の概要 • その他 	初めてセンターを利用する者
	12:20			
	13:30	SXのTSSとファイルについて	ACOS FORTRAN77の知識のある人を対象にSXのコマンドとファイルの利用方法について説明する。	ACOS 1000 利用経験者
	17:00			
4月25日 (金)	10:40	SXのFORTRAN77について	ACOS FORTRAN77の知識のある人を対象にSXのFORTRAN77の文法、プログラミング技法などについて述べる。	//
	17:00			
	10:40	SXのFORTRAN77について	ACOS FORTRAN77の知識のある人を対象にSXのFORTRAN77の文法、プログラミング技法などについて述べる。	//
5月14日 (水)	13:30	ジョブ制御言語について -FORTRAN77ジョブを中心に-	<ul style="list-style-type: none"> • ジョブについて • アクティビティについて • ジョブ制御言語の機能・規則の説明 • 使用例、利用者プログラム実行上の注意 	FORTRAN文法習得者で初めてセンターを利用する者
	15:30			
	10:40	FORTRAN77について	FORTRANの知識のある人を対象にACOS及びSX-1のFORTRAN77の文法とプログラミング技法について述べる。	FORTRAN文法習得者
5月15日 (木)	16:00			
5月16日 (金)	13:30	FORTRAN77の使用法	<ul style="list-style-type: none"> • FORTRAN77ジョブを実行する上での <ul style="list-style-type: none"> a. コンパイラ・オプションの使用法 b. 入出力技法 c. エラーの原因と対策について説明を行う。 	//
	16:00			
	10:40	第1回TSSとファイルの利用方法について (講義)	FORTRANの知識のある人を対象にTSSのコマンドとファイルの利用方法について説明する。	FORTRAN文法習得者で初めてTSSを利用する者
5月21日 (水)	16:00			

月 日	時 間	タ イ ト ル	内 容	受 講 対 象
5月22日 (木)	10:00 } 16:00	第1回TSSとファイル の利用方法について (実習)	• TSS端末の操作方法とコマンドを1人90分づつ実習を行う。	5月21日の講義を受講した者
6月2日 (月)	10:00 } 16:00	SPSSX(2.0)	• SPSSXを実行する上でのジョブ制御言語の説明及び実習を行う。	初めてSPSSXを利用する者
6月11日 (水)	13:30 } 17:00	XYプロッターの利用について	• 自動作図装置を利用するためのサブルーチンの説明を行う。	FORTRAN文法習得者で初めてXYプロッターを利用する者
6月16日 (月)	10:40 } 16:30	第2回TSSとファイル の利用方法について (講義)	• FORTRANの知識のある人を対象にACOS1000及びSX-1のTSSのコマンドとファイルの利用方法について説明する。	FORTRAN文法習得者で初めてTSSを利用する者
6月17日 (火)	10:00 } 16:00	第2回TSSとファイル の利用方法について (実習)	• TSS端末の操作方法とコマンドを1人90分づつ実習を行う。	6月16日の講義を受講した者
7月1日 (火)	13:30 } 16:00	グラフィックディスプレイ(N6922)	• グラフィックディスプレイの使用法を説明し、操作法を説明する。	TSSの習熟者でこれからグラフィックディスプレイを利用する者
7月2日 (水)	10:40 } 16:30	スプール処理システムの利用について	• 磁気テープの読み取り、作成 • ファイルライブラリテープの作成、追加、復元 • セーブテープの作成、復元 • テープコピー • フロッピーディスクのデータセットの入力、出力、コピー及びデータセット上のジョブの実行 以上について説明と実習を行う。	初めてスプール処理を利用する者

未 定 PROLOG (ShapeUp)

今後の予定 昭和61年10月頃 データベース